

## 瀬田川流域ボート・カヌー関係者等 安全対策会議 議事録

日時 平成27年3月7日(土) 9:30~

場所 滋賀県立琵琶湖漕艇場 会議室A

参加者 瀬田町漁業協同組合 吉田代表理事・今井監事・高橋監事

山中氏(滋賀県ボート)・原氏(大津市ボート)今村氏(京都ボート)

山田氏(関西ボート)・後藤氏(滋賀県高体連ボート)・大槻氏(京都高体連ボート)

高橋氏(滋賀中体連ボート)・谷本氏(関西学生ボート)・宮井氏(京都カヌー)

林氏・小原氏(関西学生カヌー)・山脇氏(滋賀県ドラゴンボート)

山田氏(滋賀県・高体連カヌー)・鷹野氏(瀬田R)仲野氏・石塚氏(レークウェスト観光)

岡澤氏・服部氏(和歌山県国体準備室)山根(漕艇場)・村田(漕艇場)・古塚(漕艇場)

以上24名

### 内容

#### 1. あいさつ

琵琶湖漕艇場 山根場長

和歌山県国体準備室 岡澤班長

#### 2. 各団体における事故防止対策等について

##### ○京都府高体連ボート専門部(大槻氏)

- ・今年度は特に大きなアクシデントは無い。
- ・専門部として安全対策会議を実施している。
- ・瀬田川で練習時は伴走の徹底をしている。

##### ○大津市ボート協会(原氏)

- ・市民レガッタ開催は素人参加が多数のため、運営は万全な体制にしている。→事故無し
- ・夏場の熱中症対策も万全であった。

##### ○県中体連ボート専門部(高橋氏)

- ・新入部員には安全対策ビデオを見せており、夏までは乗艇させていない。
- ・救命具着用は義務化し、伴走を必ずつけるようにしている。
- ・コースルールの徹底を図り、大きな事故は無い。

##### ○県高体連ボート専門部(後藤氏)

- ・事故ではないが、市民の通報により大事となった事例が1件あった。伴走の徹底を図りたい。

##### ○関西ボート連盟(山田氏)

- ・朝日レガッタ時の艇置き場の変更。→新浜ヤード、京阪石山寺駅前の河川敷となる。
- ・河川敷に置いている艇を発見した場合は注意して下さい。

##### ○県カヌー協会(山田氏)

- ・各部内で安全対策講習会を実施している。救助はあったが事故は無い。

##### ○京都府カヌー協会(宮井氏)

- ・大会時の監督会議において、安全対策は十分行っている。

○関西学生カヌー連盟（橋本氏・矢作氏・川中氏）

- ・ユニフォームを揃えるルールと熱中症対策として帽子の着用を義務化。
- ・伴走時、毛布・携帯を必ず持参するよう徹底しており、波・風強いときは乗艇しない。
- ・ボートと接触事故1件有り。

○瀬田漕艇倶楽部（鷹野氏）

- ・シングルスカル乗艇者は、沈時一人で復帰できることを義務付けている。
- ・アクシデントレポートを活用し、共有している。

○滋賀県ドラゴンボート協会（山脇氏）

- ・年4回大会実施しており、救命具の着用は義務化している。

○京都ボート協会（今村氏）

- ・滋賀県ボート協会と連携して安全講習会を実施している。
- ・夜間練習は原則行わないとしているが、やむなくする時はライト点灯を徹底している。
- ・先日、龍大と漁協の接触事故が発生。

○関西学生ボート連盟（藤本氏）

- ・安全対策マニュアルの作成。
- ・大会主催時は救命具着用を徹底する。

○滋賀県ボート協会（山中氏）

- ・今年度は、警察・消防の出動が度々あったが、大きな事故では無かった。

○レークウエスト観光（仲野氏・石塚氏）

- ・運航スケジュールの説明（別紙チラシ参照）※チャーター便については記載無し。
- ・航行時、見張りモニターで安全確認はしているが万全では無いため、特にカヌーは注意してほしい。
- ・JRとR1の間の橋脚でカヌーが休憩している事をよく目にするが、流れが速いので十分注意してほしい。
- ・夜間練習時のライトを工夫してほしい。→フラッシュライト等目立つように工夫。

○瀬田町漁業協同組合（吉田氏・今井氏・高橋氏）

- ・先日、シングルスカルと漁船との接触事故が発生。アクシデントレポートの徹底を望む。
- ・コース内藻刈を実施。さまざまな方向へ動力船が動くので、十分注意いただきたい。
- ・藻刈りや漁の作業中はできるだけ避けるようにしてほしい。
- ・瀬田川の右側航行を守っていただきたい。→琵琶湖の航行ルールを皆に知っていただきたい。
- ・年間スケジュールの説明（別紙参照）ご協力よろしくお願いします。

漕艇場より安全対策について

- ・大会運営・安全に関する確認事項について、変更箇所説明。※別紙赤字箇所
- ・アクシデントレポートの説明。→滋賀所属団体は県ボートと漕艇場に報告。  
京都所属団体は京都ボートと漕艇場に報告
- ・瀬田川放流量（H26）の確認。（別紙参照）※300t以上に変更の時はメールでお知らせしていますので確認願います。（230tから配信しています。）
- ・救助数（H26）の確認 32件
- ・コースルールの再確認。（平常時・夏季混雑時）→赤白ポールから沖50mは常に逆行。

### 3. 安全対策についての意見交換

- ・ 水上では原則右側航行です。ルールを厳守してください。一番丸は航路の右側中央よりを航行している。（レークウエスト）
- ・ 一番丸は漕手から見えていても、船長は見えていない事もある。特に夜間はライト点灯の徹底を願いたい。（レークウエスト）
- ・ ボートの場合後ろを向いているため、一番丸に気付かない事がある。常に音を出すことは出来ないか？（高体連 後藤氏）  
→低音量は出ているが、大音量では近隣住民からの苦情もあり無理である。
- ・ 漕艇場コースゴール付近の動力船の航路内は、動力船を優先する。
- ・ 瀬田川利用団体にアンケートの実施をしてみてもは。→要検討
- ・ JRから下流はプレジャーボートの航行は禁止されている。大学等の救助艇は旗を立て明確にしてください。

### 配布資料

- ・ 講習会次第
- ・ 安全に関する確認事項
- ・ 救助出動実績・放流量資料
- ・ コース・瀬田川の使用について
- ・ アクシデントリポート（事故報告書）
- ・ 一番丸2015定期運行スケジュール
- ・ 瀬田漁協年間スケジュール